

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：令和4年4月4日

公表：令和4年4月15日

事業所名 児童デイすぎといちばん星

	チェック項目	評価			工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ		
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	2			
	2 職員の配置数は適切であるか	5	2	1	職員間の連携を強化し、対応している	職員一人一人のスキルアップを行い、より厚い支援ができるよう研修や外部の指導を取り入れていく
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	1		活動フロアはすべてフラット化されている	将来的はトイレや手洗い場などは車イスでも利用できるように拡張していきたい
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8				
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8				
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	2			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	2		第三者が訪問できる機会を積極的にこなしている	第三者の視点からの意見を取り入れることができる機会を積極的に設けていく
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			オンライン研修を取り入れ職員のスキルアップを図る	職員が研修を容易に受けられるよう、設備・時間などの環境を整備していく
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	1			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	2			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		2	現場リーダーを中心に立案している	日々チームの意見を吸い上げ、活動プログラムを活性化していく
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	2		同じ活動だとしても活動場所を変えるなどして陳腐化を防いでいる	固定化のメリットも失わないよう配慮しながら、メリハリをつけて多様化を進めていく
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	1		長期休暇時は有効的に時間を使い、遠隔地等での特別な活動を行っている	平日、特に雨天時の活動内容の充実を図るため、メディア（映像・音楽）を積極的に活用していく
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8				
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			日々、予定表・記録表を活用して文書でも確認できるように徹底している	出勤時間のばらつきに起因するミスコミを防ぐため、共有予定表を活用して情報の共有のレベルアップを図っていく
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8			終礼ミーティングにて、その日の振り返りや個別の療育目標の確認を行っている	送迎からの職員の戻り時間に幅が生じないように綿密な送迎シフトを組み共有時間の確保し、可能な限り職員全員での振り返りが実施できるようにしていく
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8				
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	1			
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	5	3			ガイドラインの周知徹底のための時間を確保し、支援につなげていく
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8				
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	8				
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	7	1			
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7	1			
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	3	1		情報を効果的に移行できるよう、個人情報保護を前提にデータベース化による機動的な情報提供などを検討していく
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	2			
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		3	5	コロナ感染の予防の観点から行っていない	コロナが収束した段階で、機会を設けていくが、利用者の特性を踏まえた交流を検討していく
	27 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	2	4	2	コロナ感染の予防の観点から行っていない	コロナが収束した段階で、機会を設けていく
28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8					
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	4	1	連絡帳や毎月のアンケートから対応方法をお伝えしている	アンケート未提出の場合に、こちらから電話等を行い困りごとが無いかの確認を行っていく	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：令和4年4月4日

公表：令和4年4月15日

事業所名 児童デイすざといちばん星

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	2			
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	2			
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	2	4	オンラインの積極的活用	オンラインでの保護者会を開く機会を増やしていく
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8				
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8				
	35 個人情報に十分注意しているか	8				
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8				
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		4	4	コロナ感染の予防の観点から行っていない	コロナが収束した段階で、機会を設けていく	
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	1			動画等を積極的に活用し、視覚的な情報を効果的に発信していく
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	2	1		伝統的な訓練に囚われず、利用者が興味をもって参加できる、時代に合った活動プランを展開していく
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			定期的に実施している	日々のミーティングの場においても、スキルアップできる知識・情報の提供に努めていく
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	1			
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	1			
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8			職員全員にシェアできるようファイリングしている	